

# 誕生おめでとう

(7月31日まで届出分・敬称略)

住所	保護者	性別	出生児	ふりがな
阪宿335412	宮本 武志	女	奈那	なな
横町	内田 一郎	男	陸	りく

## ごめい福をお祈りいたします (7月29日まで届出分敬称略)

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。

住所	寄付者	故人	年齢
中沖中	竹内シマ子	(亡兄) 原田義男	74歳
阪宿下	田中 厚郎	(亡次男) 智則	30歳
上阪宿	藤川マサコ	(亡母) 渡邊ハナエ	87歳
崎園	富倉 義彦	(亡母) タミ	88歳
岡別府	中山 節子	(亡夫) 重孝	70歳
中村一	田中美保子	(亡母) チエノ	88歳
中村二	竹内 森幸	(亡母) ツタ	98歳
池段	小野 重雄	(亡妻) ユキ	85歳
立山	宮下 敏男	(亡母) エイ	98歳
町西	小窪 務	(亡母) サダ	99歳
档ヶ山	新山王 登	(亡母) スミ	81歳
上阪宿	折田真一郎	(亡妻) アヤ子	75歳

## 薩摩郷句 三條風雲見 選

兼題『夕立』

兼題『夕立』 諸木小春  
六月灯夕立が客くば追散らけつ  
(唱) 雨宿ゆして待つちよい花火

二見安正  
夕立奴れ乾れだ稲をば干し直えつ  
(唱) 架干しゆすれば良かつたち後悔

北村虎王  
禿頭夕立の走ゆ早よ悟つ  
(唱) ぼついぼついが直き当たい肌

上村牛歩  
不精が牛汚れは夕立ち洗るわせつ  
(唱) 湿つただけで落てん糞鏝

植村聴診器  
梅を干つ買物に出たや直き夕立  
(唱) 走つ帰つたどん間け合わり

## 大崎短歌会

兼題『七夕、星、願い』

聞こえてはこぬ声待ちて携帯を  
星空に向け高だか掲ぐ

穂園 芳江  
ひととせにひと夜の逢ひなど誰が決めし  
七夕かざりの笹の葉ずれや  
原田 葉子

一本の虫歯のなきを願いつつ  
呼ばれて検査の部屋に入りゆく  
長重 悦子

牛込のとげ抜き地蔵香焚けば  
遠き古里の七夕想ふ  
溝口 稔

お星さま私の願いはただ一つ  
大崎歌会いつつまでも  
宮原 のり

## 大崎俳句会

さゆらげる銀のおしべや稲の花  
中崎はなえ

洗ひ髪うつす鏡の母に似て  
新小倉ハツ子

化粧する窓に鎌切止まりける  
坂元つる子

湯の宿のみやま鴛父とさく  
廣江 澄子

名産となりゆくマンゴー我が町に  
内田ちどり

